



市立伊丹病院 臨床研修プログラム



地域医療支援病院・臨床研修病院(基幹型)
国指定 地域がん診療連携拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院

どんな病院？

■理念と基本方針



◆基本方針

人権に配慮した医療を行います
最新の信頼される医療を提供します
市民の健康を総合的に守ります
安心を提供できる環境を整備します
健全な経営基盤の確立に努めます

◆患者として守られること

適正な医療を求めることができます
同意に基づく医療を求めることができます
医療情報の開示を求めることができます
個人情報の保護を求めることができます

◆患者として守るべきこと

同意した決まりを守ります
禁煙を遵守し癒しの環境を守ります
迷惑行為をしません

■人材育成理念

“想い”に寄り添い “想い”を伝える医療を目指して
One more step
～「一步前」に進めるために 自ら考え行動出来る人材～

■施設概要

- 所在地 〒664-8540
兵庫県伊丹市昆陽池1丁目100番地
電話 072(777)3773 代表
FAX 072(781)9888 代表
- 病床数 414床
(内訳) ICU・CCU (5床)、NICU (10床)、無菌治療室 (2床)、外来化学療法室(14床)、人工透析 (10床)



医師数 **138**人 (2019.4)

手術件数 **3,495**件/年

救急外来患者数 **32.8**人/日

救急車搬送患者数 **12.5**人/日

※2018年実績



充実の診療科！
指導医講習会修了者は
35名です

診療科 & 医師数

2019.4現在

		正規	研修医 専攻医	非常勤	外来 応援	計
内科	消化器	8	3	0.8	0.5	12.3
	呼吸器	5	3			8.0
	循環器	5			0.6	5.6
	血液	3	1	0.9		4.9
	糖尿病他	3	1			4.0
	老年	3				3.0
	アレルギー-疾患リウマチ科 (人間ドック)	4	1			5.0
	(神経内科)			0.2	0.1	0.3
	小計	31	9	1.9	1.4	43.3
	精神科(心療内科)				0.4	0.4
	小児科	5	1	1.4	0.1	7.5
	消化器外科・外科	6	1		0.1	7.1
	呼吸器外科	2				2.0
	心臓血管外科				0.1	0.1
	乳腺外科	2		1	0.3	3.3
	整形外科	10	2			12.0
	脳神経外科	1				1.0
	小児外科	0			0.1	0.1
	皮膚科	1	1			2.0
	形成外科	1				1.0
	泌尿器科	4			0.1	4.1
	産婦人科	8		0.3		8.3
	眼科	2		1.0	0.4	3.4
	耳鼻咽喉科				0.5	0.5
	放射線診断科	3	1	1	0.3	5.3
	放射線治療科	1		1		2.0
	歯科口腔外科	3				3.0
	麻酔科	4.0			3.4	7.4
	病理診断科	1	1	0.8	0.2	3.0
	前期研修医(歯科含む)	—	20	—	—	20.0
	合計(臨床研修医を含む)	86	36	8.4	7.4	137.8

市立伊丹病院の臨床研修

■特徴

- 各科の枠を超えた緊密な連携のもとに幅広い臨床医学の研修ができる。
- 基本的な診断・治療への柔軟で偏りのない思考過程を習得できる。
- プライマリ・ケアの基本的な臨床能力（態度・知識・技術）を身につけることができる。
- 専門的医療も指導者の緊密な指導のもとで研修できる。
- 上級医の指導を受け、学会発表ができる。
- 適度な規模の病院で、急性期医療と高度医療の臨床経験を積むことができる。
- 選択期間が長く、個々の研修医の希望に応じたコース設計ができる。

■研修目標

- 当院の研修では、生涯にわたり自己研鑽し良質な医療を提供する医師としての素養を身につけ、人権に配慮し患者中心のチーム医療を実践し、説明責任を果たせる医師の育成を目標としています。

■定員

- 10名（平成29年より定員が増えました！）

■プログラム

■【必修診療科】

1年次必修 ：内科（24週以上）
 （消化器内科、呼吸器内科、循環器内科など）

1・2年次の必修 ：外科（4週以上）、小児科（4週以上）、産婦人科（4週以上）
 救急研修（12週以上：麻酔科4週以上を含む）
 一般外来研修（4週：内科、小児科、外科で実施）

2年次必修 ：地域医療（4週：市内の診療所・私立病院で研修）
 精神科（4週）
 （伊丹天神川病院・仁明会病院・大阪精神医療センター）

■【選択科目】

研修を深めたい診療科を選択し委員会に届出て研修する。（複数選択推奨）
選択にあたっては、研修の到達目標の症例等が達成できるよう調整する。

■ 選択可能な診療科

内科系各科、小児科、外科、呼吸器外科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、産婦人科、皮膚科、形成外科、眼科、放射線科、麻酔科、病理診断科

※選択可能期間・・・皮膚科・眼科は最大3ヶ月、他の診療科は制限なし

■ 1年目のローテート（案） 2020年のプログラム改正に対応しています

【必修科】

- 内科系必修科 23週：消化器内科、呼吸器内科、循環器内科
※当直明けは職免となり勤務無し。一般外来（4週以上）の要件を満たすため内科は2年目にもローテートして頂く予定です。
- 麻酔科・外科・小児科・産婦人科は各7週が基本ですが、週数調整の8週となる科があります。
- 一般外来：内科系・外科・小児科ローテート時に研修を行います。（半日/週×44週＝4週以上経験）
- 救急外来：時間内救急 2週間に1回 & 時間外（日直or当直） 4～5回/月
※当直は5月から始まります。当直の日程は、研修医同士で相談して決めます。

《ローテートモデル》

ローテートする順番は4月のオリエンテーションで、誰がどの順でローテートするかを相談します。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																								
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52週
消化器内科 (9週) ※一般外来研修含む				循環器内科 (7週) ※一般外来研修含む				呼吸器内科 (7週) ※一般外来研修含む				麻酔科 (7週) ※救急研修含む				外科 (7週) ※一般外来研修含む				小児科 (7週) ※一般外来研修含む				産婦人科 (8週)																											

■ 2年目のローテート（案） 2020年のプログラム改正に対応しています

【必修科】

- 内科系9週 ・地域医療4週 ・精神科4週

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																								
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52週
血液内科 (5週)		老年内科 (4週)		地域医療 (4週)		精神科 (4週)		選 択 科 （希望科） 複数科ローテートすることも可能です																																											

※一般外来（4週以上）の要件を満たすため内科は2年目にもローテートして頂く予定です。アレルギー疾患リウマチ科、糖尿病・内分泌・代謝内科なども選択出来ます。

志望は内科系ですが専門を決めかねていたの、臨床研修中にいろんな科を経験して、進路を決めました。

将来、消化器外科を考えているので、2年目にも消化器内科を選択！他の外科系も幅広く経験しました。

- 1年目は環境に慣れるので必死。約2ヵ月ずつのローテートなので、落ち着いて研修できました。
- 臨床研修は、様々な診療科をローテートすることが出来る唯一の期間。この間に、視野を広げようといろんな診療科をローテートしました。
- 2年目の選択科は、前半・後半に分けて決められるので、進路決定に沿って調整することが出来ました。

■先輩研修医からのおススメPoint

- 救急搬送も非常に多く、1次2次とも救急症例が豊富！
内科救急は、1年目は上級医と同時コール、2年目はファーストコール
- 熱心な指導医のもと手技の習熟を図れる。
例) C V Cは上級医の指導の下、年間30件以上経験
- 各科の垣根が低く、困った時に誰にでもコンサルトできる。
- 外科では短い期間に急性腹症から悪性腫瘍まで幅広く経験できた。マンツーマン指導により短期間で基本手技が習得でき、今後の診療に役に立つ。
- 救急カンファレンスでは、研修医が多くの症例を発表し、プレゼンテーション能力を磨ける。上級医の先生からの助言により、自分のいたらなかった点を反省することも多い。
- 地域医療研修は、市内診療所で研修。往診等、普段見えない患者さんの日常生活を見ることができ、よい経験となった。
- 早朝勉強会が充実していて、診療の基礎となる鑑別診断の挙げ方や、トリアージの仕方を学ぶことができる。
- 選択期間が長い&選択できる診療科が多く、幅広い研修が出来る。且つ、どの診療科を回っても、熱心な先生が多い。
- 院内のローソンはめっちゃ便利！！



■臨床研修医 募集要項

身分	非常勤嘱託職員	
給与	1年次25万4千円 2年次26万円 (賞与: 1年次 2.25ヵ月、2年次 3.3ヵ月分/年)	
	当直料: 研修副当直2万円、研修主当直4万円	
	参考年収: 1年次458万円 2年次542万円 (当直月4回の場合)	
宿舍	病院敷地内に宿舍棟あり (自己負担 月額19,000円 入居月のみ14,000円加算)	
健康保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険あり、医師賠償責任保険は病院において加入	
募集形式	医師臨床研修マッチングに参加して募集する。	
募集書類	1.臨床研修申込書 兼 履歴書 (専用用紙をHPからダウンロードしてください。写真添付。本人自筆。印刷はA4サイズ) 2.卒業(見込み)証明書 3.大学成績証明書 4.臨床研修医申込に関する確認事項 (WEB登録) 5.返信用封筒 (受験票送付先の住所を記入。82円切手貼付。サイズは長形3号又は4号)	当院HPの受験申込専用フォームから、応募事前登録を行ってください。
選考方法	集団面接	
募集期間 選考日	募集期間	選考日
	①2019年7月1日～7月31日 ②2019年7月1日～7月31日 ③2019年7月1日～9月6日 (郵送の場合は、締切日必着)	①2019年8月17日(土) 9:00～ ②2019年8月19日(月) 13:30～ ③2019年9月18日(水) 13:30～7 ★時間は受験人数によって調整します。

■ 出身大学と進路

開始年	人数	出身大学	進路
H27年	6	旭川医科、愛媛大、阪大、滋賀医科、徳島大、福井大、三重大	当院の消化器内科（2）、整形外科（2）、小児科 尼崎総合医療センター 麻酔科
H28年	7 定員改正	阪大（4）、京府医大、産業医科大 奈良県立医大	当院のアレルギー疾患リウマチ科、病理診断科 大阪急性期・総合医療センター 内科、大阪警察病院 呼吸器内科、埼玉県立がんセンター 放射線治療科、産業医科大学 皮膚科、守口敬仁会病院 外科
H29年	10 定員改正	愛媛大、大阪医科、香川大（2）、金沢大、 金沢医科、滋賀医科、兵庫医科（2）、 三重大	当院の呼吸器内科（2）、整形外科（2） 大阪母子医療センター、市立豊中病院 糖尿病内科、神戸市立医療センター西市民病院 呼吸器内科、兵庫医科大学病院 消化器内科、兵庫県立尼崎総合医療センター 麻酔科、兵庫県立西宮病院 糖尿病内科
H30年	10	阪大（4）、大阪市大、愛媛大、香川大 金沢医科大、山口大	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>臨床研修後、約半数近くが 専攻医として、引き続き勤務。</p> </div>
H31年	10	阪大、神戸大、兵庫医科、関西医科、大阪医科、 愛媛大、香川大、高知大、島根大、福岡大	

■ 学会専門医制度施設認定

日本内科学会認定医制度教育病院
 日本消化器病学会専門医制度認定施設
 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
 日本消化管学会胃腸科指導施設
 日本肝臓学会関連施設
 日本呼吸器学会専門医制度認定施設
 日本血液学会認定血液研修施設
 日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設
 日本糖尿病学会認定教育施設
 日本高血圧学会認定施設
 日本老年医学会認定施設
 日本アレルギー学会認定教育施設
 日本リウマチ学会認定教育施設
 日本循環器学会専門医制度研修施設
 日本小児科学会専門医制度研修施設
 日本外科学会外科専門医制度修練施設
 日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設
 日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
 日本胸部外科学会教育施設
 日本乳癌学会専門医制度認定施設
 日本整形外科学会専門医制度研修施設
 日本脳神経外科学会研修施設

日本皮膚科学会専門医制度研修施設
 日本泌尿器科学会専門医教育施設
 日本透析医学会専門医制度認定施設
 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
 日本眼科学会専門医制度研修施設
 日本口腔外科学会専門医制度研修施設
 日本麻酔科学会認定病院
 日本医学放射線学会専門医修練協力機関
 日本病理学会病理専門医制度登録施設
 日本臨床細胞学会認定施設
 日本がん治療認定医機構認定研修施設
 日本臨床腫瘍学会専門医制度研修施設
 日本緩和医療学会認定研修施設
 日本超音波医学会専門医研修施設
 日本人間ドック学会専門医制度研修関連施設
 母体保護法指定医師研修医療機関
 日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
 兵庫さい帯血バンク採取医療機関
 日本栄養療法NST稼働施設
 日本静脈経腸栄養学会 NST稼働施設
 日本乳房ワップラステックジャー学会 インプラント実施施設
 日本乳房ワップラステックジャー学会 イキパンダ-実施設

■ 専攻医 募集要項 新専門医制度の開始により、変更となる可能性があります。

目的	臨床医学・医療の広い知識・技能からさらに専門的な医療を習得し、優れた臨床医を目指すことを目的とする。
応募資格	医師免許を有し、医師臨床研修制度における2年間の臨床研修を修了もしくは修了見込みの者。（当院研修医、大学推薦医、公募）
身分・人数	専攻医（非常勤嘱託員）、各科若干名
研修期間	研修期間は臨床研修終了後より3年間を限度とし、1年毎に更新する。院外研修も可能。3年後正規職員への任用の可能性あり。
待遇	参考年収 卒後3年：985万円、卒後4年：1,070万円、卒後5年：1,100万円
	上記は、月4回の当直料を含む。（当直料、超過勤務手当は常勤医師と同じ）
健康保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険あり
募集期間	H31年4月1日より9月30日まで（面接日は適宜決定）

■ モデル給与（専攻医1年目）

	月額	年間	備考
給与	345,000	4,140,000	
医師特別調整手当	50,000	600,000	
期末勤勉手当		1,073,000	採用月によって割落しがあります。
当直手当	207,200	2,486,000	当直月4回の場合
夜勤手当（当直時）	8,693	104,000	
救急当直加算	60,000	720,000	当直時に対応した患者数によって加算があります。
超過勤務手当	108,640	1,304,000	月40時間で試算
計	779,533	10,427,000	

当直を実施している診療科では、救急外来・病棟管理またはICU当直が、月4回程度あります。

当直明けは、原則休みです。

■ 学会活動支援

各種学会活動を支援するため、旅費と参加費の補助を行っています。

■ 他院ローテート中の処遇について

新専門医プログラムは、3年間で複数の病院をローテートする場合があります。給与等の処遇は、ローテート中の病院の処遇が適用されます。

各診療科での研修の特色

■ 救急医療

- 救急部門は12週を必修とする。
【救急部門の内訳】
 - ★麻酔科
救命に必要な気管挿管や全身管理を研修する。
 - ★救急外来当直
 - 1. 2年次に救急外来日当直において救急の研修を行う。
- 救急患者：CPA等の重症患者も含め年間約10,458人
1日平均救急外来患者数 28.7人、1日平均救急車搬送患者数 10.6人
- 当直体制：内科系2名（病棟・外来）、外科系、産科当直、ICU
小児科の一次救急は平成20年4月に「阪神北広域こども急病センター」が当院近くに開設され、二次救急は輪番体制で、当院はその一施設として中心的役割を果たし救急入院等に対応している。
- 早朝救急カンファレンス（全科）：
全科の中から救急疾患症例の検討会や指導医からのレクチャーを活発に行っている（週1回）

■ 内科

消化器内科

- 超音波検査、上部消化管内視鏡検査などの実技を含めて研修。下部消化管内視鏡検査、内視鏡下治療（EMR, ESD）やERCP関連の検査・治療、肝生検やラジオ波焼灼術（RFA、RVSRFA*）などは指導医とともに習熟度に合わせた研修をする。特別な症例について指導医のもとに学会発表を行う。
*RVSR: real time virtual sonography
- カンファレンス等
 - 火曜日夕方：症例検討会、抄読会
 - 金曜日夕方：回診、勉強会
 - 月2回：レ線透視と内視鏡と病理の検討会

循環器内科

- 64列MDCTによる冠動脈の評価、超音波検査、運動負荷検査、右心カテーテル検査などを実技を含めて研修。心臓カテーテル検査・治療などは指導医とともに習熟度にあわせた研修を行なう。カテーテル検査は月30件位。
- カンファレンス等
 - 火曜日夕方：心臓カテーテルカンファレンス

呼吸器内科

- 身体診察、呼吸機能データ、画像などを立体的に組み立てて患者の病態を理解し、それを同僚医師その他に簡潔・明瞭に提示できる能力の獲得を目指す。
- 非挿管下人工呼吸、胸腔穿刺、気管支鏡などは呼吸器学会専門医制度に合致したカリキュラムで行う。
- 呼吸器支援チーム、感染対策チーム、緩和医療チームに参加してチーム医療のあり方を学習する。
- カンファレンス等
 - 月曜日午後：カルテ回診
 - 火曜日午前：気管支鏡
 - 火曜日早朝・木曜日午後：回診
 - 水曜日午後：放射線科との合同カンファレンス

■ 外科

- 平成29年手術実績：628例（消化器、乳腺・内分泌疾患が中心）、145例（呼吸器外科）
がん診療の他、救急疾患も多く、患者さんの立場に立った診療を行なっている。呼吸器外科と協力して診療を行っており、希望により呼吸器外科疾患も経験できる。
- 一般目標
指導医がマンツーマンで指導にあたり、外科診療に必要な基本的な手技の習得を目指す。また、診療を通して患者を全人的に理解し、良好なコミュニケーションを築くための考え方を学ぶ。
- 個別目標
 - ・ 外科スタッフの一員としてできるだけ多くの手術に参加し、切開、縫合、ルート確保などの基本的な技術を習得する。
 - ・ ICの方法、診療録・手術記録の記載方法を学ぶ。
 - ・ 外来では、一般外傷処置のトレーニングの他、専門外来の診療や外来で行なう超音波検査、内視鏡検査なども経験し、画像診断法のポイントを学ぶ。
 - ・ 救急疾患の診断から治療まで一貫して担当し、診療の流れを理解する。
 - ・ 外科で多く経験するがん患者の診療については、手術の他、化学療法、放射線治療の適応についても学習し、さらに緩和医療の考え方も理解する。

■ 週間予定

	月	火	水	木	金
早朝			がん化学療法 カンファ	抄読会	救急カンファ
午前	手術	手術	胃内視鏡	手術	
午後	手術	手術	SSIカンファ	手術	大腸内視鏡 /部長回診
午後5時				術前・病理 カンファ	



女性医師も活躍中

■ 小児科

- 当院小児科は、地域の中核病院として急性感染症をはじめ種々の疾患の幅広い診療活動を行っている。また、阪神北広域こども急病センターと連携を取り小児の救急診療を行っている。
・平成28年度の小児科年間入院患者数は1,366名、外来患者数（救急外来受診者数を含む）は、延べ12,380名（1日平均50.7名）であった。
- 研修期間は必修の4週の外、2年次も長期の小児科選択研修が可能である。
- 一般目標：一般小児科の臨床経験を指導医のもとで実践し、基本的な小児疾患の診断と治療、採血や点滴などの手技の習得を目指し、小児プライマリーケアを実践できることを目標とする。
- 週間予定
 - 月曜午後：病棟部長回診
 - 水曜日夕方：入院症例カンファランス
 - 金曜日早朝：全科で救急カンファランス
 - 第4木曜夕方：心理カンファランス（臨床心理士との検討会）
 - その他：早朝カンファランス（週5回）、勉強会（適宜）、抄読会隔週1回



■ 産婦人科

- 個別目標
 - ・ 産科診察（正常妊娠と異常妊娠）について外来診察または受持入院患者を自ら経験する。
 - ・ 婦人科診察〔性器感染症・不妊症・子宮内膜症・子宮筋腫・子宮頸癌・子宮体癌・卵巣腫瘍（良性・悪性）など〕の診断と治療の流れを理解する。
 - ・ 産婦人科領域の急性腹症を的確に鑑別し、初期治療を行う。
 - ・ 超音波検査（経膈的・経腹的超音波、断層法・ドップラー法を含めて）の手技を習得する。

病院見学に行こう！

この雰囲気は体験しないと分からない！ぜひ、見学にお越しください！！

■ 申込方法

- 1 WEBから申込
- 2 指導医と日程を調整してお返事します。
- 3 当日は、2階総務課へお越しください。
【持ち物】白衣&大学の名札

WEB申請はこちらから！



■ 見学スケジュール

- 9：30 来院・更衣・プログラム説明
- 10：00 AM診療科見学
- 12：00 ランチ
- 13：00 PM診療科見学
- 16：00 1日お疲れさまでした！



1年目研修医オリエンテーション BLS研修

■ 診療科別おススメ曜日

診療科は、午前・午後に分けて2診療科を見学できます。

- 消化器内科 内視鏡検査の見学は月・木曜日がオススメ！
- 循環器内科 循環器の花形心カテの見学なら水曜日がオススメ！
- 呼吸器内科 火曜日はAM気管支鏡検査、PM回診がありイチオシ
- 血液内科 いつでも歓迎です！
- 糖尿病内科 月・金曜日
- 小児科 木曜日以外、いつでも歓迎です！
- 外科 火・木曜日 OPの見学が出来ます！
- 麻酔科 いつでも歓迎です！
- 整形外科 水・金曜日 OPの見学が出来ます！
- 脳神経外科 水曜日がオススメです！
- 泌尿器科 木曜日 OPの見学が出来ます！
- 産婦人科 いつでも歓迎です！
- 放射線科 月曜日PMはIVRを、金曜日は放射線治療の見学ができる為オススメです！
- 救急（内科系） いつでも！



1年目研修医の勉強会

■ 早朝勉強会も見学できます！

朝8時から実施している早朝勉強会の見学も可能です。

見学申込時にご希望をお知らせください。

火曜日 臨床研修医1年目勉強会

金曜日 全診療科合同救急カンファ

(3週目のみキャンサーボード)



手術の見学もできます♪

研修医の日常

先輩研修医の日常のひとコマ。実際、どうなのかは見学で！



研修医の朝は、8時スタートの勉強会から始まります。正直、最初はしんどかったですが、だんだん習慣になってきます。

- 月曜日 細井Dr&木下Dr塾
問診の仕方等、すぐに使える知識を学びます。
- 火曜日 全科持回り勉強会
様々な科の先生方が、「このタイミングで、必要なコト」を幅広くレクチャー
- 水曜日 内科系勉強会
- 木曜日 各診療科カンファ
- 金曜日 救急カンファ・キャンサーボード

お昼になると、研修医室に皆が戻ってきます。ごはんを食べながら、わいわい雑談。研修医室は、1人ずつ机があり、電カルや先輩達がプレゼントして下さったバリスタもあって、快適！なんといっても、研修医だけの部屋なので、内緒話をし放題(笑)

机が散らかって見えるのは気のせいです。いつもはもっとキレイ！（たぶん。。。）



当直は、上の先生方の当直が決まった後に、どこに入りたいか、希望を書きこみます。基本は、ローテートしている診療科の当直に入りますが、それにプラスし内科救急当直に入る人が多いです。内科救急は、「3年目即戦力」を目指して、2年目の後半では、研修医が主体となって診療にあたるシステムがあります。ドキドキの連続ですが、着実に実力がつくのを実感できます！

日	月	内科当直表 5月	2017/4/1
救急当直	日直	当直	1
救急当直	日直	当直	2
救急当直	日直	当直	3
救急当直	日直	当直	4
救急当直	日直	当直	5
救急当直	日直	当直	6
救急当直	日直	当直	7
救急当直	日直	当直	8
救急当直	日直	当直	9
救急当直	日直	当直	10
救急当直	日直	当直	11
救急当直	日直	当直	12
救急当直	日直	当直	13
救急当直	日直	当直	14
救急当直	日直	当直	15
救急当直	日直	当直	16
救急当直	日直	当直	17
救急当直	日直	当直	18
救急当直	日直	当直	19
救急当直	日直	当直	20
救急当直	日直	当直	21
救急当直	日直	当直	22
救急当直	日直	当直	23
救急当直	日直	当直	24
救急当直	日直	当直	25
救急当直	日直	当直	26
救急当直	日直	当直	27
救急当直	日直	当直	28
救急当直	日直	当直	29
救急当直	日直	当直	30
救急当直	日直	当直	31





■ 臨床研修医 専攻医 廣海先生

研修で印象に残っている出来事は？

消化器内科を回らせて頂いた際に、上部消化管内視鏡を上級医の先生方に丁寧に教えていただき2か月間のローテーション後には最初から最後まで自分で検査させて頂くことが出来たことです。ESDやERCPの介助といった手技なども指導医の先生に見守ってもらいながら任せてもらうことがあり、緊張しましたがうまく出来たときの達成感はかけがえのないものでした。

どんな研修生活を送っていますか？

研修医同士の仲がとても良く、よく一緒にご飯を食べに行ったり飲みに行ったりしています。先日は研修医1,2年目の先生とBBQをしに行きました！にぎやかで和気あいあいと研修生活を送らせて頂いています。研修医ルームではくだらない話から研修中に生じた疑問など、同期に気軽に相談することが出来て、日々楽しく研修生活を送らせて頂いています。

研修病院選びで大事にしたことは？

市立伊丹病院は救急搬送が非常に多く、walk-in、救急搬送などで様々な症例を経験することが出来ます。walk-inで来られる患者さんの中にも重篤な疾患の方が来られることがあり、first touchを研修医に任せられるためどのような検査や治療を行うか、鑑別疾患として何をあげるのかを一緒に入らせて頂く先生と相談して決めていくため、困ったときにフォローして下さる先生がいらっしゃるというのはとても心強いです。

伊丹病院の研修の特徴は？

上級医の先生が研修中にどのような症例をしたいかなど柔軟に希望に応じてくれます。希望すれば手技もどんどん経験することが出来ます。また勉強会も豊富で、毎週月曜・火曜日には研修医向けの勉強会、水曜日には内科全体の勉強会、金曜日には全科合同の救急カンファレンスがあり、救急カンファレンスでは救急外来で来られた患者さんで診断に苦渋した例など、勉強になる症例をあらゆる科の先生が交代で発表され、議論が展開されるため色々な科の先生の意見を聞くことが出来てとてもためになります。

プロフィール

大阪大学卒業後、2016年4月より、市立伊丹病院にて臨床研修中。



■ 消化器内科 科部長 堀木先生

市立伊丹病院の特徴は？

市立伊丹病院は伊丹市において最も大規模な急性期病院であり、地域中核病院として初期診療から高度専門医療まで幅広いニーズに応えているという特徴があります。病床数に比べて専門科が多く、内科も呼吸器・循環器・消化器・血液・糖尿・老年・アレルギーにそれぞれ専門医が配属されており、専門的な治療が行われています。しかし何と云っても他には無いこの病院の特徴は各科の間の壁が低くアットホームな医局にあると言えます。毎週金曜日に全科合同の救急症例カンファを行い、救急症例でひやりとした症例や、示唆に富む症例、診断や治療に難渋している症例を発表し、得られた教訓を全科で共有しています。他科に気軽に相談できるのは勿論の事、他職種のスタッフとも気軽にコミュニケーションをとることができます。

消化器内科での研修について教えてください！

消化器内科では、外来での初期診療・初期治療、入院での初期治療から専門治療に至るまで上級医との完全ペア体制で診療にあたります。机の上での勉強よりも実際の経験を通して学ぶ方が記憶に残り、実力になるというのが当院の教育方針であり、出来る限り検査や処置にも参加し、その手技を習得できる体制を組んでいます。もちろんそのような研修ができるのはナースを代表とするコメディカルが医師研修に協力的で研修医のみなさんが研修に専念できるからであり、これも当院の大きな特徴と言えます。

研修医にメッセージを！

自分で考えて動ける医師を目指します。医師人生の中で最も大切な最初の“一歩”をぜひ伊丹病院で！

プロフィール

山梨大学卒業後、大阪大学・市立豊中病院を経て、2006年4月より、市立伊丹病院へ着任。日本緩和医療学会暫定指導医でもあり、企画責任者として厚生労働省の開催指針に基づく「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」を主催する他、講師として院内外で活躍中。



■ 消化器内科 専攻医 佐竹先生

市立伊丹病院を選んだ理由は？

病院見学の際、教育熱心な先生方が多く、とても雰囲気の良い印象を受けました。救急に関しても、1次・2次の症例数が多く、実際に研修医が診療に携わることができる機会が多いことも魅力的でした。指導医の先生方に恵まれていること、病院の雰囲気が良いこと、医師として多くの経験を積めることが、当院を選んだ理由です。

市立伊丹病院を選んでどうでした？

実際に初期研修が始まってからは、医学的な知識ももちろんですが、患者さんとのコミュニケーションなど、指導医の先生方や患者さんから学ぶ機会がとても多く、充実した毎日でした。同期や先輩方やコメディカルの方々にも恵まれ、しんどいときもありましたが楽しく研修に取り組むことができました。当院を選んで、本当によかったと思います。

後輩の研修医にメッセージを！

私は消化器内科を専門として1年目ですが、毎日勉強してもまだまだ足りない状況です。また、入院患者さんの主治医になり他科の知識が必要な場面がありますが、そのときに様々な診療科の先生方に相談しやすいというのが、当院の大きな魅力のひとつだと思います。

実力を持った医師になるための環境が当院には揃っています。

ぜひ一度当院に見学にいらしてください！

一緒にがんばっていきましょう！

プロフィール

大阪大学医学部保健学科卒業後、大阪市内の病院で臨床検査技師と勤務。

再度医師を志し退職し、滋賀医科大学に入学。

同大学卒業後、市立伊丹病院にて臨床研修を修了。

2017年4月より、市立伊丹病院消化器内科専攻医





■アレルギー疾患リウマチ科 医員 兵頭先生

後期研修に市立伊丹病院を選んだ理由は？

子供がいるため、病院選びの条件はまず「子育てと仕事の両立ができる病院」でした。

当院を選んだ理由としては、子育てをしながら仕事をするに関して、部長をはじめ、同僚の理解を得られる環境であったことが大きいです。また当直明けは帰宅できますし、休日の病棟業務は基本的には当直医が行うため、休日がしっかりとれるという職場の制度も魅力的でした。研修については、主治医として色々な症例を任されるため豊富な臨床経験を積むことができ、当院を選んでよかったと感じています。

仕事と子育てとの両立のコツは？

両親や夫など身近な人の理解と協力にとっても助けられています。

また職場の上司や同僚の理解があることも大きいと感じています。

周囲の方々に感謝する日々です。

プライベートで、今やってみたいことは？

いい季節なので、車で遠くまでドライブに行きたいですね。

後輩の研修医にメッセージを！

当院は二次救急病院なので、内科としてcommonな疾患を多数経験することができます。

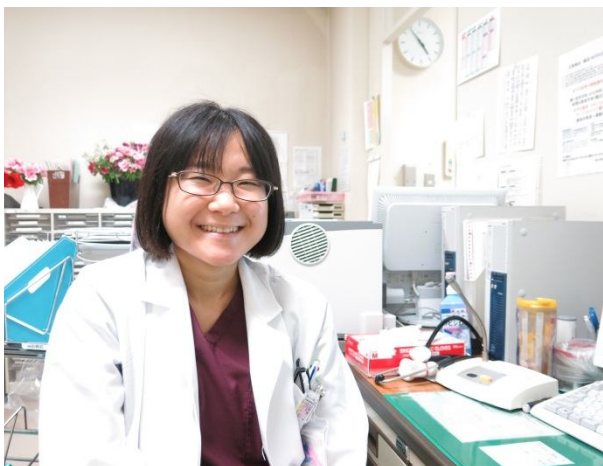
アレルギー科やリウマチ科としては、成人のアナフィラキシー、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎、血管炎などを始め数多くの疾患を経験することができます。

平日は忙しく働き、休日は休息をしっかりとる。オンオフのはっきりした充実した生活を送れる職場です。

是非、一緒に働きましょう。

プロフィール

香川大学卒業後、大阪医科大学附属病院にて臨床研修を修了。
2015年10月より、市立伊丹病院アレルギー疾患リウマチ科専攻医





■小児科 専攻医 小川先生

なぜ、市立伊丹病院の小児科へ？

まずは広く一般小児が診れるように考えた時に、市立伊丹病院の小児科は患者数も多く、疾患も多岐に渡り、しっかり経験が積めるのではないかと感じたからです。また、初期研修の時に感じたことですが、指導して下さる先生方や看護師・薬剤師の方々も含め職場の方々が非常に優しく、また子供達のことを第一に考えるという思いがひしひしと伝わってくる職場の環境であったことも大きな理由です。

新専門医研修のプログラムを教えてください！

市立伊丹病院の場合は大阪大学を基幹病院としたプログラムの関連病院になるので、市立伊丹病院で2～2年半研修したあと、大阪大学で半年～1年間の研修を行います。

専攻医になって変わったことは？

主治医になるということで、周りの先生方に相談させて頂くことは多々ありますが、最終的な治療方針等は自分が決めることとなります。そのことが楽しいと感じる反面、怖さもあり、責任の重大さを痛感しています。試行錯誤の日々です。



これから、やってみたいことは？

将来的には小児神経や重症心身障害者医療に関われればと考えています。

後輩の研修医にメッセージを！

小児科は本当に幅が広く奥も深い学問で、人生をかける価値は十分にあると思います。小児科の道に進もうと考えている、また迷っている研修医の先生方、なにより当院の科の雰囲気の良いことを見学に来て感じてください！お待ちしております！

プロフィール

大阪大学卒業後、市立伊丹病院にて臨床研修を修了。 19
2017年4月より、市立伊丹病院小児科専攻医



■ 外科 医長 澤見先生

市立伊丹病院の外科の魅力は？

当院は、いろんな疾患に対応できる市中病院ならではの魅力の詰まった病院だと思います。

外科では、スタッフ全員に相談できる環境があり、小さな疑問点でも検討を重ねて解決できる協力体制ができていところに魅力を感じます。

どんなことにやりがいを感じていますか？

鏡視下手術を含む悪性腫瘍手術から急性腹症の緊急手術まで、万遍なく主治医として手術を担当出来ます。化学療法や緩和ケアの分野においても、外科では積極的に対応しているため、患者の診断・手術から終末期までの全ての治療過程において関与できることにやりがいを感じています。

後輩指導で心がけていることは？

時間がない時でも質問などをされた際には、なるべく丁寧に返すようにしています。また侵襲的な処置の時にも研修医に声をかけ、いろんな経験ができるように心がけています。



後輩の研修医にメッセージを！

研修医の時期はいろんな事を経験できる大切な期間だと思います。是非、一緒に働きましょう。

プロフィール

近畿大学卒業後、大阪大学医学部附属病院にて臨床研修を修了。大阪府立急性期総合医療センター等を経て、2012年10月より、市立伊丹病院外科副医長



■呼吸器内科 科部長 木下先生

市立伊丹病院の内科の魅力は？

主要な専門内科が揃っていて、中堅クラスの指導医が充実しています。地域の患者さんたちとの距離感も極めて近く、生活密着型の診療が展開できます。日々、診療の中で新しい発見があり、それを多様な患者さんたちが導いてくださいます。

どんなことにやりがいを感じていますか？

患者さんが良くなって喜んでいただけることはもちろんですが、この病院での私達との出会いを良き思い出として、その後の健康維持につなげて下さったら最高です。

研修医への勉強会をたくさんされておられますが、どんな内容をされていますか？

実際にあった症例をもとにした「臨床推論」が中心です。随時必要な医学知識もおりませますが、医学的なものの見方・考え方のトレーニングが中心です。

指導で心がけていることは？

相手の心をつかむために、何か印象的な言葉とか手技を見せたり、聞かせたりして、とにかくもともと持っているはずの医学への関心を開花させたいなあ、と思っています。

研修医にメッセージを！

よい教育とは、全てを教えることではなく、学ぶためのヒントを与えながら、向学心を育て上げることかなと思っています。学びの宝庫である当院にぜひ来てください。



プロフィール

岡山大学卒業後、大阪府の民間病院に勤務。市立堺病院（現・堺市立総合医療センター）藤本卓司先生のもとで総合内科・感染症診療・感染管理を研修し、2008年4月より、市立伊丹病院へ着任。呼吸器内科部長兼感染対策室部長



■呼吸器内科 科部長 原先生

患者さんとの関係で大事にしていることはどんなことですか？

礼儀は忘れず、でも笑顔で楽しく話せるように、患者さんに近い存在になれるような接し方を心がけています。

臨床研修医への指導で心がけていることは？

病気を診ることも大切ですが、人自身を診れるように指導しています。

数多くの臨床研究もされていますが、どんな思いから研究に取り組んでおられるのでしょうか？

市中病院である伊丹病院ですが、臨床研究に関してはその他の大学病院やがんセンターと対等な立場で進めています。最先端の医療を目の前の患者さんに実践できるように、また臨床的疑問を研究へとつなげられる研究マインドも当院で研鑽できるようにしたいです。

これからの目標を教えてください！

どんな腫瘍でも柔軟に対応して治療ができる技術を極めたいです。臨床研究を進め、より多くの発表を海外学会で行います！



研修医にメッセージを！

がん治療は様々な科の先生の協力の元に成り立ちます。
他科との垣根がほとんどない伊丹病院は、本当に仕事がしやすいです。
一緒に頑張りましょう！

プロフィール

大阪医科大学卒業。2009年7月より市立伊丹病院へ着任。²²
陸上競技部で長距離を極め、フルマラソンベストはサブスリー！



■ 脳神経外科 主任部長 二宮先生

市立伊丹病院の脳神経外科の特徴は？

一般的な脳神経外科手術を行い、高度な治療は大阪大学及び関連施設と連携を図っています。兵庫県下唯一のてんかんセンターとして、“てんかん”の内科治療～外科治療を担っています。

体が空いていれば、救急の依頼をいつでも受けます。

二宮先生にとって、脳神経外科の魅力は？

神経疾患は、画像診断、脳機能、生理学、解剖の理解が必要です。外科的アプローチはその理解を早める近道です。研究として研鑽するのも、救急を扱いドラマチックな展開を経験するのも、いずれでも可能な診療科です。静と動、いずれも満足できるのが魅力だと思います。

臨床研修医への指導で心がけていることは？

指導医が時間を守る。お昼休みを取る。17時で終わる。神経疾患に興味を持ってもらう。

これからの目標を教えてください！

いつでも信頼されること。

専門医研修について、教えてください！

大阪大学脳神経外科専門医養成プログラムに入ってもらい、当院を含めた関連施設と大学研修を経て専門医試験を受験してもらいます。

研修医にメッセージを！

当院では、独りになることはありません。どんな時でも、サポートが入ります。わからないことがあれば、困っている顔をするとお節介が入ります。これが当院で学べる最も良い点です。

プロフィール

大阪大学卒業後、市立堺病院等での勤務を経て、2013年4月より、市立伊丹病院へ着任。それまで休止していた脳神経外科の再開に注力。





■ 呼吸器外科 主任部長 奥村先生

市立伊丹病院の魅力は？

各診療科の垣根が低く相談しやすい環境、医局（病院）全体で研修医を育てる雰囲気、病院全体に知らないことを学ぼうとする姿勢があることにつきます。

呼吸器内科の先生方をはじめとする病院スタッフの研修医への学習（教えてあげたい）意欲の高さや、早朝に行われる救急カンファレンスやcancer board、夕方のCPC症例会への医師の高い参加率や、看護師、放射線技師さん達の多くの参加は他の施設とは一線を画すと思います。

臨床研修医への指導で心がけていることは？

医師として、特に外科系医師として獲得すべき診療技術を、エビデンスに基づいた診療内容とともに伝えるのはもちろん、患者さんに寄り添う心をもった医療人を育てたいと思っています。

これからの目標を教えてください！

四十にして惑わず、五十にして天命を知る。

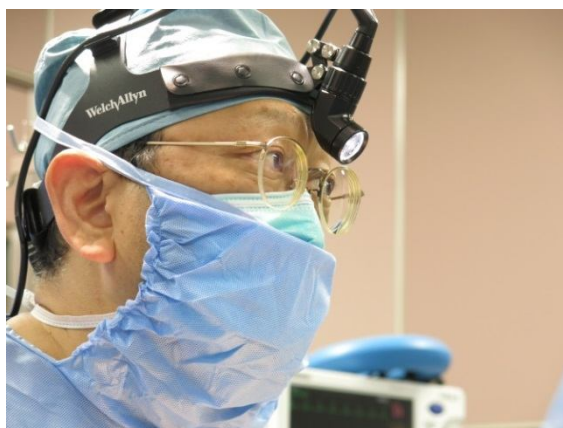
自分の持つ技術、知識を若い人に出来る限り伝えていきたいし、また彼らからも学びたいと思っています。

研修医にメッセージを！

知りたいことは迷わず、上級医や指導医に聞きましょう。

どしどし質問して、ともに知識を獲得していきましょう。

患者さんや患者さんの家族に寄り添える心を持ちましょう。



プロフィール

兵庫医科大学卒業後、同大学胸部外科へ入局。

大学病院などで心臓血管外科／呼吸器外科の修練を積む。

2010年4月より市立伊丹病院へ着任、呼吸器外科を立ち上げた。



■ 診療部長 三木先生（小児科主任部長）

市立伊丹病院 小児科の特徴を教えてください！

将来どの科に進むにせよ、発達過程にある小児の特性を理解し、小児診療に必要な知識・技術を習得することはきわめて大切なことであります。当院小児科の初期臨床研修は、1か月間を予定しています。

当院小児科は地域の中核病院として、感染症をはじめとするcommon diseaseからsubspecialtyを必要とする疾患まで幅広く診療しています。

平成20年4月からは、近隣に阪神北こども急病センターが発足し、夜間・休日の一次救急患者の診療を開始いたしました。当院は二次搬送病院として中心的な役割を果たし、急病センターと緊密な連携を取り合っ小児救急患者の対応に当たっています。

小児科学会がキャンペーンしておりますように、当院小児科も出生から大人になるまで子どもたちの健康を守り、地域社会を通じて成育医療を実践しています。

小児科の研修は、主任部長をはじめ小児科専門医資格を持ったスタッフが、マンツーマンで指導いたします。来たれ研修医諸君、市立伊丹病院へ！



専門医研修について教えてください！

当院は小児科学会認定専門医制度研修施設になっており、将来小児科専門医を目指す専攻医(後期研修医)も毎年募集しています。初期臨床研修が済んだ後の3年間を大阪大学小児科と連携したプログラムを作っております。現在他院で研修されている初期研修医の先生方からの応募をお待ちしています。当院小児科は若い先生達の手を必要としています！

プロフィール

2000年4月に市立伊丹病院に着任。2016年より診療部長に昇任。



■呼吸器内科 主任部長 細井先生

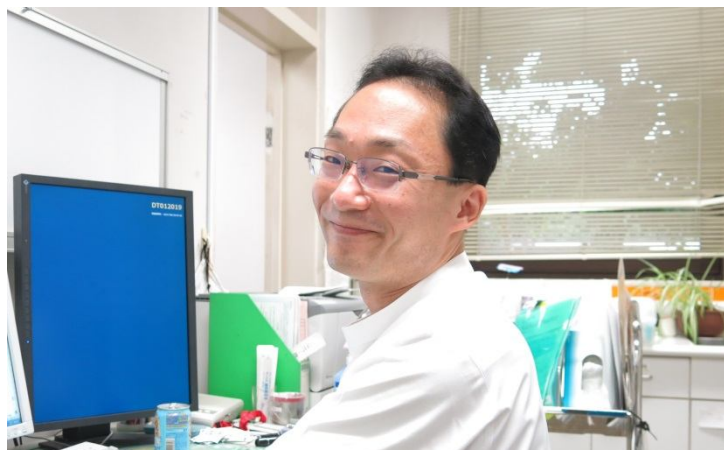
市立伊丹病院 呼吸器内科の特徴を教えてください！

当院の呼吸器内科は伊丹市の中核病院であり、呼吸器感染症・喘息・COPD・間質性肺炎・呼吸不全などの患者が多く搬送されてきます。肺癌の治療にも力を入れており、呼吸器疾患全般の研修が可能です。呼吸不全症例は積極的に非挿管下人工呼吸の導入を行っています。多職種で構成している呼吸療法チームでの回診も行っており、いろんな角度から診ることができます。

指導体制を教えてください！

当科のモットーは「総合内科的な視点でベットサイド での問診・診察を大切にする」ことです。基本的な問診・診察やグラム染色などを大切に、回診やカンファレンスを通じて教育にも力を注いでいます。スタッフは11名でいつでも指導医に相談できる体制です。勉強会もほぼ毎朝行われており、耳学問で大量の知識を得ることができます。このように、座学で知識をインプットし、救急外来や病棟で実際に患者を診ることでアウトプットし、それを指導医からフィードバックされる体制が整っています。日本内科学会、日本呼吸器学会、日本臨床腫瘍学会の認定施設なので、内科認定医・専門医、呼吸器専門医などの資格も得ることが可能です。

意欲のある若手の医師を求めています。少しでも興味をもたれたら連絡ください。お待ちしております！



プロフィール

2003年6月に市立伊丹病院に着任し、閔副院長と二人三脚で呼吸器内科の立ち上げに尽力。緩和ケア研修会講師、ICLSやJMECC（内科救急・ICLS講習会）の認定インストラクターとしても活躍中。

■ 消化器内科 専攻医 前田先生

市立伊丹病院の臨床研修の感想は？

伊丹病院は様々な科があるため、初期研修医2年間で色々な科の現場に触れさせていただき、大変勉強になりました。また、どの科も初期研修医の段階から手技を積極的にさせていただけるため、充実した2年間を送ることができました。

専攻医になって、変化したことは？

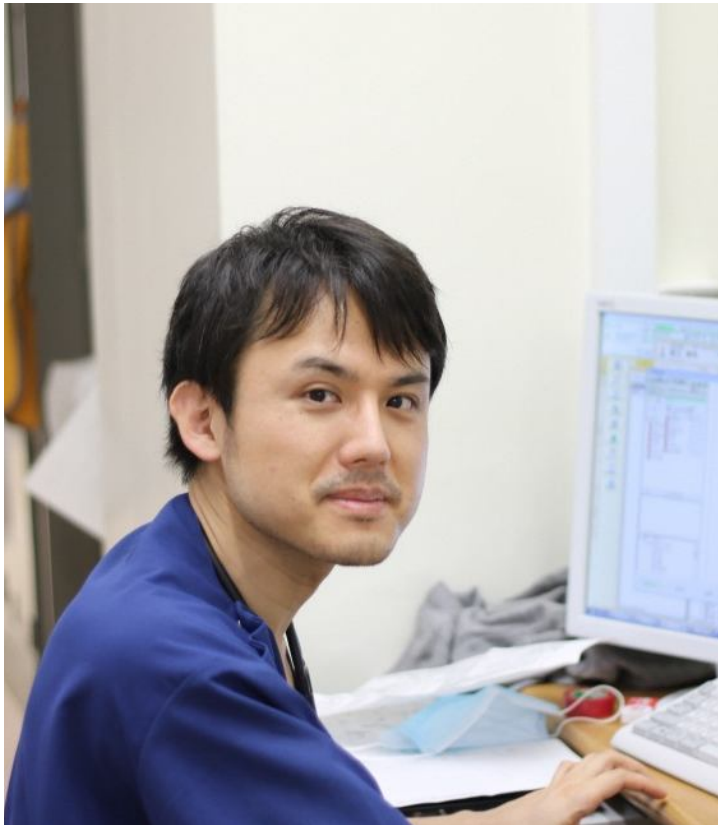
主治医を任されるようになり、治療計画や病状説明等をメインとする立場になったため責任を感じる反面、達成感も大いに増しました。忙しい日もありますが、充実した日々を送っています。

専攻医になって感じる、臨床研修医の時にやっておけばよかった事ってありますか？

自分が将来進もうとしている以外の科も、短期間でいいので、できるだけかじって回ってみると、そのとき得た知識・視点が、担当患者さんに併存している他科疾患を診るときに役に立つのでお勧めです。

後輩の指導で、心がけていることは？

慣れてきたら、後輩に任せてやってもらうことです。自分は任されることにより、自分で調べ、考えるようになりました。



これからの目標を教えてください！

消化器内科の色々な手技を体得すること、初心を忘れず常に勉強し、新しい知識を得ることです。

研修医にメッセージを！

すでに自分の進むべき科を決めている人もいれば、将来どの科に進もうか迷っている方も多いかと思います。これは個人的な感想ではありますが、科ごとにドクターの雰囲気・性格のカラーがあるように思えます。自分のキャラクターがその科の雰囲気に合うかどうかで決めるのも、一つの手かもしれません。

プロフィール

愛媛大学卒業後、市立伊丹病院にて臨床研修を修了。2017年4月より、当院消化器内科専攻医



病院見学でお会いしましょう！